

リスクアペタイト・フレームワーク(RAF)

リスクアペタイト・フレームワーク導入の目的

リスクアペタイト・フレームワーク(RAF)とは、一般的に、経営陣等がグループの経営戦略等を踏まえて進んで受け入れるリスクの水準について対話・理解・評価するためのグループ内共通の枠組みのことをいいます。

みずほフィナンシャルグループは、お客さまの実需に焦点をあてた適切なリスクテイクとソリューション提供を通じて競争優位を確立し、持続的かつ安定的な収益確保による企業価値の向上を実現し、公共的使命を全うすることを目指して、RAFを導入しています。

具体的には、事業戦略や財務戦略を実現するために進んで受け入れるリスクとして〈みずほ〉のリスクアペタイトを明確にしたうえで、戦略・施策や資源配分・収益計画を決定し、その運営状況をモニタリングする等、事業戦略、財務戦略およびリスク管理の一体運営を通じたリスク・リターン最適化を行っています。

リスクアペタイト・フレームワークの運営体制

RAFはリスク・ガバナンスの中核をなすものであり、取締役会が、リスクアペタイトの決定等RAFに関する基本的事項、ならび

にRAFの運営態勢および具体的なリスクアペタイト等を文書化したリスクアペタイト・ステートメント(RAS)を決定しています。

また、取締役会の諮問機関であるリスク委員会(非執行取締役と外部専門家にて構成)が、取締役会へ助言を行うほか、経営への提言を行っています。

一方、業務執行におけるRAFの運営に関する事項については、経営ガバナンス高度化委員会で審議しています。同委員会は、委員長であるグループCEOの統括のもと、グループCRO*1、グループCFO*2およびグループCSO*3と共同し、事業戦略、財務戦略およびリスク管理の一体運営を行っています。また、ユニット長およびグループ長は、リスクアペタイトを踏まえた業務運営を行うとともに、同委員会にも出席します。

リスク管理委員会は、グループCROを委員長とし、RAFの運営に関する期中のモニタリングを行っています。グループCROは、同委員会で議論した事項について、取締役会やリスク委員会に直接報告することができます。

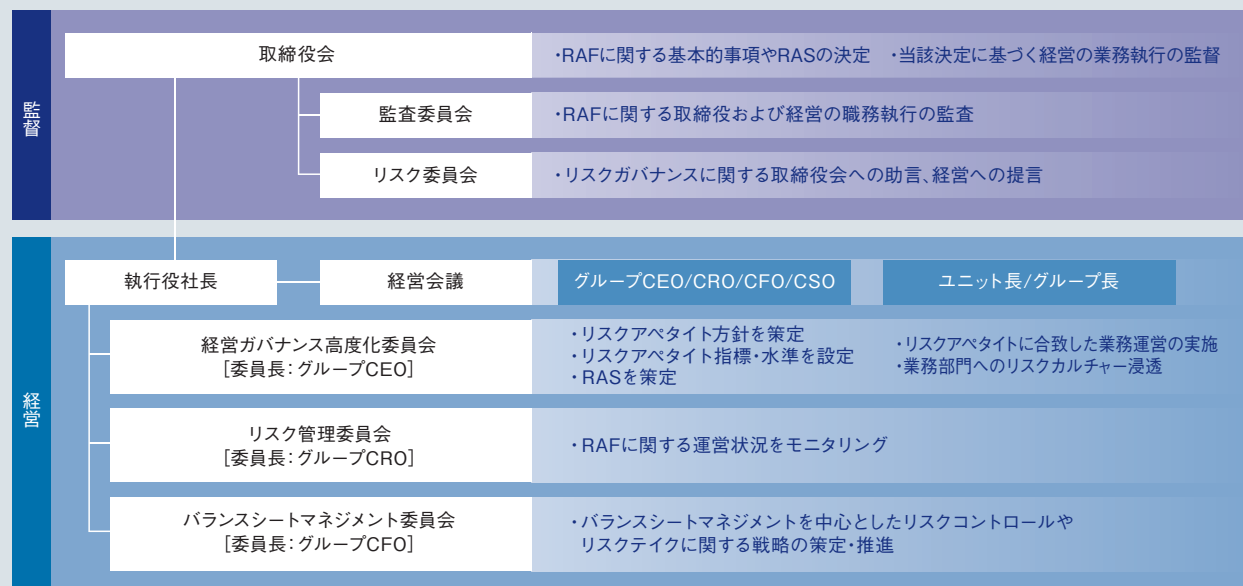
バランスシートマネジメント委員会は、グループCFOを委員長とし、バランスシートマネジメントを中心としたリスクコントロールやリスクテイクに関する戦略の策定・推進を行っています。

※1. リスク管理グループ長

※2. 財務・主計グループ長

※3. 企画グループ長

みずほフィナンシャルグループのリスクアペタイト・フレームワーク(RAF)運営体制



リスクアペタイトの策定／モニタリング

当社は、業務計画の策定において、事業戦略や財務戦略を実現するために、どのような業務に取り組み、どのようなリスクをどの程度取るか、すなわちリスクアペタイトを明確にしたうえで、戦略・施策を具体化し、経営資源の配分や収益計画を決定しています。

〈みずほ〉のRAFでは、外部環境を認識しメインシナリオを、さらに当グループの脆弱性も認識しリスクシナリオを設定しています。そしてこれらシナリオと、事業戦略や財務戦略に関して当社が認識する課題等を踏まえて、リスクアペタイトを策定しています。また、ストレステストを活用し、リスクシナリオが発生した場合の期間損益や自己資本比率等への影響を評価し、策定したリスクアペタイトの妥当性を確認しています。

〈みずほ〉のリスクアペタイトは、リスクテイクに関する基本的な方針を定めたリスクアペタイト方針と、この方針に基づいて定量的な水準を定めたリスクアペタイト指標で構成しています。

リスクアペタイト方針については、〈みずほ〉の企業価値の向上を実現し、公共的使命を全うするために普遍的にリスクテイクを行う領域、中期経営計画や環境変化を踏まえた中期的な目標、および単年度の業務計画における運営方針を踏ま

えた単年度の課題のそれぞれについて策定しています。

リスクアペタイト指標については、〈みずほ〉の企業価値の源泉・成果である資本・収益力・流動性等について適切な指標を選定し、事業戦略や財務戦略を実現するために進んで受け入れるリスクの水準(リスクアペタイト水準)を設定しています。

さらに、〈みずほ〉のリスクアペタイト指標をユニット等の業務部門に展開して業務部門におけるリスクアペタイト指標を設定し、〈みずほ〉のリスクアペタイトの実効性を確保しています。業務部門は、〈みずほ〉のリスクアペタイトを踏まえて、各々の業務計画を策定し業務運営を実施しています。

当社は、策定したリスクアペタイトに則った業務運営を実施すること、すなわち期中においてもリスクアペタイトに則って適時・適切にマネジメントアクションを実施することを目的に、シナリオ対比の外部環境の状況や、リスクアペタイト対比の戦略およびリスク・リターン状況等について、定期的にモニタリングを行っています。

また、RAFが実効的なものとなるには、健全なリスクカルチャーを醸成することが重要となります。〈みずほ〉は、役職員のリスクに対する感度を磨き、リスクへの適応力・対応力を高める等、健全なリスクカルチャーの醸成に努めています。

〈みずほ〉のリスクアペタイト策定イメージ

